

# オプジーボ®+ヤーボイ®

## ◆ 点滴に使用する薬と点滴時間

点滴時間：1時間30分

使用する薬	外観	点滴時間
オプジーボ® 240mg		30分
生理食塩水		30分
ヤーボイ® 1mg/kg		30分

- 薬の量は、副作用の程度などにより変更されることがあります。
- 点滴時間はあくまで目安であり、時間が前後することがあります。

## ◆ スケジュール

21日間を1コースとして、治療を繰り返します。

## ◆ コース数

計4コース行います。

### 【血液検査について】

副作用の確認のために、定期的な血液検査を行います。

## ◆ 点滴中

下記の赤字の症状があるときは、すぐに医療スタッフへお声かけください。

## 過敏反応（アレルギー）

寒気、吐き気、頭痛、めまい、発疹、息苦しい

治療開始1～2回目が起きやすいですが、治療を繰り返していても現れることがあります。

## 血管外漏出

点滴が漏れている、針を刺したところが痛い、熱っぽい、赤く腫れている、違和感がある。

# オプジーボ®・ヤーボイ®を投与される方へ

免疫異常により全身に様々な症状が起こる可能性があります。  
以下は、主な症状と可能性のある副作用です。  
症状がある場合は病院へご連絡ください。

## 発現部位が限られる症状

嘔吐、精神状態の変化  
→**脳炎**

かすみ目、まぶしく感じる  
視力低下  
→**ぶどう膜炎**

乾いた咳、息苦しさ  
息切れ  
→**間質性肺炎**

めまい、動悸、意識の低下  
→**心臓障害**

皮膚や白目が黄色くなる  
→**肝臓障害**

ひどい下痢、血便、黒い便  
→**大腸炎**

尿量が減る、血尿が出る  
むくむ  
→**腎臓障害**

## 全身に出る可能性のある症状

疲れやすい、体重の増減  
いらいらや物忘れしやすい  
体がだるい  
→**甲状腺、下垂体、副腎などの  
内分泌機能異常**

発疹、水ぶくれ、ひどい口内炎  
→**重症な皮膚障害**

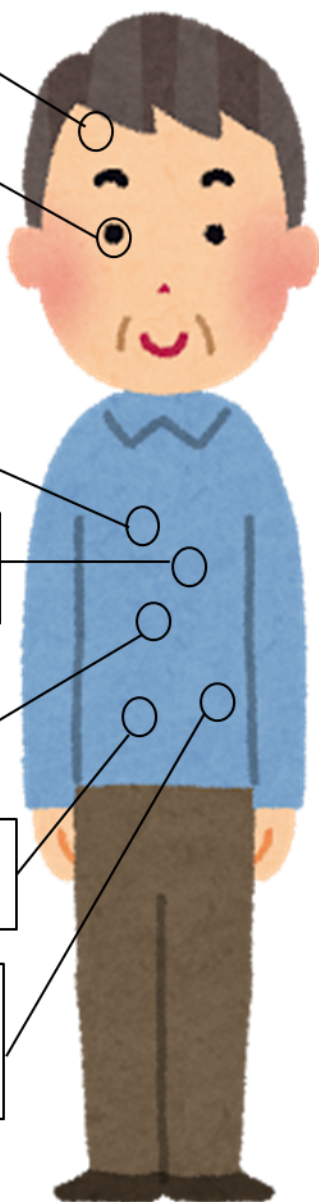
息苦しさ、手足に力が入らない  
ものが二重に見える、筋肉痛  
→**重症筋無力症**

のどが乾く、水をよく飲む  
だるい  
→**1型糖尿病**

皮膚のあざ、  
口や鼻から出血しやすい  
→**血小板減少症**

運動・感覚まひ  
手足のしびれや痛み  
→**神経障害**

足のむくみ、痛み、胸痛  
→**静脈血栓塞栓症**



## 甲状腺・下垂体・副腎機能障害

甲状腺や下垂体、副腎はホルモンを分泌して体内の機能を保つ組織です。ホルモン値の変動にあわせて、お薬を使用することがあります。

## 間質性肺炎

たんが絡まない乾いた咳、息苦しい、発熱などが急に現れる、または以前から症状があり、その症状が急に悪くなった場合は病院へご連絡ください。レントゲンで定期的に検査します。

## 皮疹・皮膚炎、白斑

皮疹がでたり、皮膚が赤くなるまたは白くなることがあります。

症状に応じて飲み薬やぬり薬を使います。

全身への皮疹やかゆみが強い時、またはひどい口内炎やまぶた・目の充血、粘膜のただれ、発熱をとまなう場合は病院へご連絡ください。

## 下痢・大腸炎

軟便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられることがあります。

血便や黒色便、腹痛を伴う場合は、下痢止めを使用せず病院へご連絡ください。

## 肝機能障害

肝臓の働きが低下することがあるため、定期的に血液検査を行い、肝臓の働きを確認します。お酒やサプリメント、健康食品でも肝臓の働きが低下することもあります。これらを服用中の方は、主治医に申し出て下さい。白目や皮膚が黄色くなる（黄疸）、ひどいだるさがある場合は、病院へご連絡ください。

## 腎機能障害

腎臓がうまく働かなくなることがあります。腎臓の働きが悪くなるとお薬が体内から抜けにくくなり、副作用が強くなる場合があります。

尿量の減少、全身のむくみがある場合は、病院へご連絡ください。

## 重症筋無力症・筋炎

体に力が入らない、まぶたが下がる、筋肉が痛いなどある場合は、病院へご連絡ください。

## 脳炎・髄膜炎

頭痛、吐き気、意識が薄れる、首を前に曲げにくい場合は、病院へご連絡ください。

## 糖尿病・糖尿病性ケトアシドーシス

からだのだるい、のどの渇き、尿量が増える場合は、病院へご連絡ください。定期的な尿検査を行いますが、ご自宅でも尿糖検査での自己チェックをお願いします。

# 免疫チェックポイント阻害薬における高血糖の早期発見のために

免疫チェックポイント阻害薬は、免疫のしくみ（免疫機能）を利用した治療です。がん細胞を攻撃する作用がある一方で、様々な副作用を認めることがあります。頻度は稀ですが特に、急激に発症する**劇症1型糖尿病**は命に関わる副作用であるため、十分な注意が必要になります。

劇症1型糖尿病の初期症状：上気道炎症状（発熱、咽頭痛など風邪のような症状）  
全身倦怠感（しんどい、だるい）  
消化器症状（上腹部痛（おなかのいたみ）  
吐き気（むかむかする）、嘔吐など）

高血糖の症状：口渇、多飲、多尿、体重減少、全身倦怠感、意識障害

血糖値が高くなっていないかを簡便に知る方法として**尿糖をチェックする方法**があります。尿糖チェックは、手軽に現在の血糖の状態を間接的に知ることができ、糖尿病の発見に大変有用です。そのため、試験紙を購入頂き、自宅で検査していただくことをお勧めしています。

近隣のドラッグストアや薬局、もしくはインターネットで「**新ウリエース®Ga**」を購入してください。30枚入りで990円です。

## 検査するタイミング

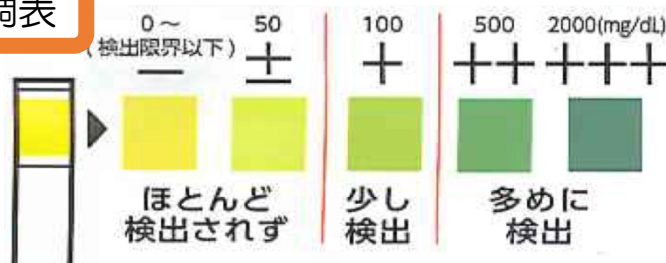
治療開始前（ベースライン）

- 朝起きて、最初の尿

治療開始後 2～3日毎

- 朝起きて、最初の尿
- 倦怠感など通常と違うと感じたとき（随時）

## 色調表



緑色に変化したら、  
要相談!!!!



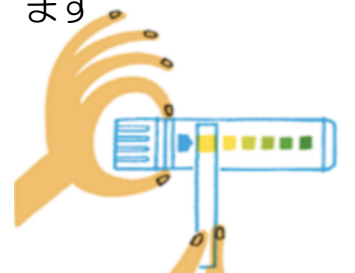
(1) 約1秒間、試験紙に尿をかけます



(2) 30秒後に、色調表と比較して、判定します



(3) 判定後は、そのままトイレに捨てられます



## ◆ 緊急時の連絡方法

困ったことがあったときは、下記にご連絡ください。

気持ち悪くて水分も摂れない  
下痢が止まらない  
37.5℃以上の発熱が続いている  
薬の使用方法がわからない

など



診察券を用意する

代表：044-977-8111 に電話をかける

平日：8:30-17:00  
土曜日：8:30-12:30

腫瘍センター  
ナースステーション

夜間帯・休診日  
など左記以外の時間

各診療科の当直医

## ◆ 予約外受診の方法

病院本館正面玄関に入って右手の  
「②再診受付」または「予約外受付機」で手続きした後、  
各診療科の外来でお待ちください。

※受付時間：平日8:30-11:30 土曜日8:30-11:00

- 生活上の注意については、別冊のパンフレットもご参照ください。
- ご不明な点がある場合は、遠慮なく医療スタッフにお尋ねください。

薬剤師